

尾瀬をまもる取り組み（尾瀬の保全について）

財団法人尾瀬保護財団 落合清勝

●尾瀬保護財団の活動について

尾瀬保護財団では、尾瀬のすぐれた自然環境の保全を図るために、様々な活動を行っています。

1. 入山口啓発活動等

主な入山口において、尾瀬ボランティアの協力を得て、入山マナーの啓発などを行っています。また、尾瀬ボランティアの活動支援や、尾瀬自然解説ガイド事業を行い、尾瀬ガイド協会事務を受託して円滑な運営に協力しています。



2. 自然解説事業

利用者が尾瀬の貴重な自然について認識を深め、適正利用を促進することを目的として、ビジターセンターの職員等により、自然解説活動を実施しています。



また、環境学習推進のためにミニツアーを行ったり、財団職員や外部講師によるフィールド講座を実施し、尾瀬の貴重な自然の大切さを認識することに向けて、利用者への啓発を行っています。

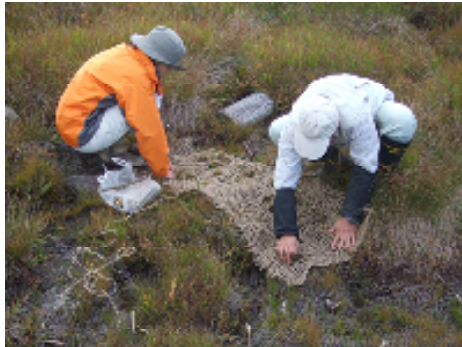
3. 啓発 PR 事業

啓発 PR 事業として、尾瀬ガイダンスの開催、「わたしの尾瀬」フォトコンテスト及び写真展の開催、各種パンフレットの作成・配布、尾瀬の自然情報や財団の活動を発信するためのホームページの管理運営を行って、尾瀬の適切な利用方法等を PR しています。また財団機関誌「はるかな尾瀬」を発行し、四季折々の自然、財団の活動状況、その他尾瀬に関する幅広い情報を関係者や尾瀬ボランティア、友の会会員等に提供しています。

4. 環境保全事業

至仏山東面登山道や熊沢田代などの荒廃した湿原や登山道の植生復元及び保全事業を実施してきました。また、至仏山保全対策会議を運営して至仏山保全のための

対策について検討し、浸食や裸地化の進行が著しい3区間（東面登山道上部、小至仏山南面、オヤマ沢田代）について、現登山道および迂回ルート候補地の状況を把握するための環境調査を実施しています。（平成21年度～24年度）



5. 施設維持管理事業

公園施設の安全・快適な利用を図るため、尾瀬沼、山ノ鼻にあるビジターセンター、公衆トイレ等の維持管理を実施しています（環境省、群馬県から受託）。また、ぶなの森ミュージアムの管理運営を行っています。（檜枝岐村から受託）

6. 調査研究事業

・至仏山環境調査

浸食や裸地化の進行が激しい至仏山3ルート（東面登山道上部、小至仏山南面、オヤマ沢田代）について、付け替え候補地の植生及び地生態の調査を行うとともに、現登山道の劣化原因の特定や修復目標と復元方法について調査しています。

・適正利用推進事業

利用の適正化を図る手法について検討するとともに、入山者の安全で快適な利用を確保するため、次のような調査研究を行なっています。（環境省受託）

- ・快適利用への誘導（効果的な情報提供）
- ・利用者の安全確保（ツキノワグマ対策の実施）（平成17年度～21年度）
- ・利用集中に関する影響評価
- ・尾瀬ビジョンの進行促進

そのほかに、顕彰事業（尾瀬賞の授与）、友の会事業、尾瀬サミットの開催などの事業を通じて、尾瀬関係者との緊密な連携の下に、尾瀬の保護とその適正利用を推進しています。